

## 育児休業取得状況等報告書

### 【企業担当者記載欄】

1 企業名	旭精機株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景</p> <p>女性の育休取得は 100%に達したが、男性の取得は少ししか伸びていない現状。H19 年から新卒採用を再開し、その若手社員たちの結婚が増えてきたため良いタイミングだと判断した。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組</p> <p>掲示板への貼り出しだけであったが、R4 年 10 月の法改正時に全従業員へ育児休業制度の説明と協力をお願いを作成し、配付して普及活動をしました。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点</p> <p>実例が少なく、取得してよいのか分からない、言い出しにくい雰囲気があったため、配付物によって誰もが取得できる認識を持ってもらう、そして時代背景のために育休が取れなかった世代へ理解と協力を求めた。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと</p> <p>業務の引継ぎや人員配置・補充などに十分な時間を確保するため、取得希望者にはまずは早めの告知（希望の意思表示）をお願いし、希望者・所属長とコミュニケーションを取り、スムーズな取得に向けフォローするよう努めた。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください</p>

### 【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 28 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ</p> <p>妻に社内で育児休業が取得できるという話をしたところ、是非取ってほしいという話になり、取得することに決めた。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと</p> <p>妻がとても喜んでおり、感謝してもらえた。</p> <p>育児の楽しさと大変さを知ることができた。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点</p> <p>自分がないことで進まなくなる仕事が最小限になるよう、自分のみが把握している仕事を最優先で引継ぎした。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること</p> <p>今、自分に何ができて、何をすべきかを、以前より考えながら仕事ができるようになった。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方のアドバイス</p> <p>家庭はもちろんですが、自分の成長のためにも取得すべきだと思う。</p>